



## カンタベリー日本語補習校 運営だより

第15号

平成24年3月10日

発行：カンタベリー日本語補習校運営理事会

文責：運営理事長 松崎一広

3月になると日が短くなったことを実感します。この1カ月は、昨年NZと日本で起こった大震災を思いさずにはられません。失われたものと思うと胸が苦しくなりますが、希望にあふれた子供たちの姿に励まされます。安全で美しい街を子孫に託せるよう、前を向いていきましょう。

### <運営理事会開催記録>

#### 2月24日（H23年度第10回）の主な内容

- 1) 校長所感（総括と提言）
- 2) 校長所感を受けて（議論）
- 3) 平成24年度教員採用と雇用契約について
- 4) 3月17日（卒業式、離任式）の対応確認
- 5) 3月11日 Japan Dayの対応について
- 6) その他

### <校長所感—理事会への提言—>

赴任された2年間を総括する校長所感の内容は広く深いもので、簡単に要約できませんが、言及された項目は以下のとおりです。

1. 補習校の使命を自覚する。学習塾との違い。
2. 本校の目的「いつかの帰国」に備える。
3. 補習校は誰のもの。誰のためにあるのか。
4. 開かれた理事会、開かれた運営をめざす。
5. 教育課程の展開、多層集団への対応。
6. 教職員への対応。一層の資質向上を図る。
7. 学校環境の変化。後戻りはできない。
8. 実学齢集団を基盤にした集団教育が本道。

### <校長所感を受けて議論>

上記の校長所感を受けて、理事会で活発な意見交換を行いました。重要事項がいくつもあるため、早急に具体的な議論をして1年以内に結果を出すべき事項（算数・数学の扱い、教員の評価など）と、中期的な達成課題や長期的な目標として扱うものに分け、引き続き検討することにしました。

### <3月17日は卒業式／離任式>

卒業証書授与式は午後3時15分開会、堀井校長の離任式は午後4時20分開会です。卒業式に参

列するのは卒業生の保護者ですが、離任式は補習校関係者全員が参列の対象となります。困難な状況下で、補習校のためにご尽力くださった堀井校長先生を、感謝を込めてお送りしましょう。

なお、同日午後5時半から予定されていた次期校長と運営理事および教職員との顔合わせは、長野次期校長の着任が当初の予定より遅れることになったため延期します。

### <3月11日のJapan Dayへの対応>

3月11日は、日本人会主催によるJapan Dayが開催されます。補習校運営理事会も補習校の紹介コーナーを作って参加します。補習校の紹介展示はささやかですが、このJapan Dayは、普段、現地に適応することを心がけて日本を前面に出すことが少ない日本人コミュニティが総力を挙げて取り組んだ初の一大会で、日本の良さや日本人としての誇りも感じられることと思います。

### <海外子女教育振興財団からの助成受領>

海外子女教育振興財団から総額16万6432円（NZ\$2846）の援助をいただきました。内訳は、（1）教材整備事業（9万1432円）でノートパソコンとビデオカメラを購入、（2）安全対策援助（6万5000円）

で小型発電機を購入しました。

ノートパソコンとビデオカメラは日常的に活用されており、小型発電機は災害時の停電対策や野外イベント等に活用されます。



### <在籍希望の変更は至急に>

在籍希望調査はすでに締め切っており、それに基づいて平成24年度のクラス編成を行っておりますが、提出後に生じた特段の事情により在籍希望の変更や取り消しをされる場合は、大至急お知らせください。